

「一般撮影領域の Entrance Skin Dose 測定セミナー」のご案内

開催 中国・四国支部
企画・運営 支部運営小委員会

近年、医療分野における放射線の利用が急速に拡大し、医療被ばくの定量評価に対する関心が高まっています。本邦では、J-RIME より放射線検査による診断参考レベル (DRLs 2015) が公表されました。診断参考レベルは予め標準化された方法によって、計測された放射線量から統計的に値づけられています。このような背景から、医療被ばくを適切に評価するためには各医療施設で独自に線量評価を行う必要があります。そこで、中国・四国支部の放射線計測の基礎セミナーとして、「一般撮影領域の Entrance Skin Dose (ESD) 測定セミナー」を企画、開催いたします。

本セミナーでは、医療被ばくの基礎的なデータを担う ESD に着目し、電離箱線量計を用いた放射線計測を物理学の観点から詳細に解説を行います。また、X線スペクトルの見地から照射線量と吸収線量の関係を明らかにし、電離箱線量計で計測した電離量から ESD を導出する実践的な実習を行います。本セミナーの受講目標は、電離箱線量計を用いた基礎的な線量計測の理論、計測技術を習得し、臨床現場で実践応用が行えるようになることです。

- 1) 募集人数 20 名程度
- 2) 受講費：1000 円 (会員), 2000 円 (非会員)
- 3) 開催日：平成 30 年 9 月 1 日 (土)
- 4) 開催場所：岡山大学医学部保健学科 (205 講義室, X線撮影実験室)
- 5) 日程：1 日 (9:00-17:00)
- 6) 実習内容

- ・ 講義

ESD 算出までに必要な基礎的な放射線物理学・各パラメータ及び電離箱線量計の基礎特性の説明。

- ・ 実習及び演習

実習は診断用 X線装置と電離箱線量計を用いて、air-kerma を実測し、講義内容に沿って ESD を算出する。

- ・ 総合討論